



空手二十箇條

一 空手は禮より始まり禮に
終る事を知るな
二 空手に先手なし
三 空手は義の道
四 先づ自己を知れ而して
他を知道
五 技術より心術

六 心は放たんとすを要す
七 福は懈怠にせず
八 道場のとれ空手と思ふ礼
九 空手に修業は一途
十 凡ゆる物を空手に化せよ其
変に妙味あり
十一 空手は湯の如し絶えん
熱を與へざれば元の如
に還る
十二 勝負考（を）拍つ不負けぬ
考（は）必要
十三 敵より固く猫化せよ
古戦八雲守の操能考より
あり

十五人の手足を剣と思へ
古男子門を出れば百萬の
敵有り
七 構へは初心者に復ら自然体
大型の心へく空手戦は別物
其力の強弱新の伸縮技乃
後念を忘る礼
八 常に思ふと工又せよ

松澤 富名義 珠 氏



富名義先生と先生墨蹟